

Raspberry Piの生みの親エベン・アプトンさんが登場!

BIG Raspberry JAM Tokyo 2016

取材文 塩野祐樹
撮影 青柳敏史

いま、世界中で大ブレイクしている超小型コンピューター「Raspberry Pi」って知ってる? じつはKoKaでも、来月号からRaspberry Piの新連載が始まるんだけど、それに先だって、昨年12月11日に開催されたRaspberry Piのコミュニティイベント「BIG Raspberry JAM Tokyo 2016」に行ってきたので、その様子をお届けするよ!



BIG Raspberry JAM Tokyo 2016は、講演と展示の二本立てで行われた。講演には、Raspberry Piの開発者であるEben Upton(エベン・アプトン)さんが登場! さらに、Raspberry Piと同じ子供向けパソコン「IchigoJam」の開発者や、Raspberry Pi用ロボットキットの開発者などが講演を行ったよ。

展示では、Raspberry Pi用のロボットや、Raspberry Piに接続して使うセンサー類、そしてRaspberry Piを使ったさまざまな工作が会場を埋め尽くしたぞ。まずは、エベン・アプトンさんの講演からお届けしよう。

Raspberry Piのファンが集まるイベントをJamと呼ぶ。東京で開催される大きなJam、それがBIG Raspberry JAM Tokyo 2016だ!

Raspberry Pi誕生!

Raspberry Piをつくったのは、私がケンブリッジ大学で教えていた2006年、学生たちのコンピュータースキルが低下していたことに気づいたのがきっかけです。MSXやX68000(1980年代に日本で人気のあったホビー用のパソコン)など、身近にあった「プログラムできるコンピューター」がなくなったことや、ゲーム機やパソコンが普及したことが、スキルが下がった原因かもしれません。

そこで2007年から、さまざまな言語でプログラミングができ、ゲームをしたり動画を見たりでき、小さくて壊れにくく、安いデバイスをつくり始めました。

2008年にRaspberry Pi財団を設立、2011年5月には、プロトタイプが完成しました。そして2012年に発売されると、初日で10万台も売れたのです! このときの価格は25ドルでした。

エベン・アプトン
イギリス出身。
Raspberry Piを
開発した人物。

Eben
Upton

